

2024年5月1日(水)第一水曜祈祷会

出エジプト記19章1～25節

「神に会う備えをせよ」

### 【ここまでの振り返り】

### 【今日の観察と黙想】

#### 1. シナイ山到着、神の招き(19章1～6節) \* 神はイスラエルと契約を結ばれる。

①神が「鷲の翼に乗せて」とは、どういうことを表しているのでしょうか(申命記32:11参照)。

→

②神は契約を結ぶにあたって、イスラエルに対してどんな条件を提示されましたか。

→

③イスラエルが契約を守るなら、神はどんな特権を約束されましたか(3つ)。

→

#### 2. 準備としての民の聖別(19章7～15節) \* 濃い雲は神の顕現を象徴的に表わすもの。

①民が「主の言われたことをすべて行います」と言ったことには、どんな意味がありますか。

→

②神が濃い雲の中にあつて民に臨まれる理由はなんですか。

→

③神はご自身と会われるために、民にどんな準備を命じられましたか(3つ)。

→

#### 3. 神の顕現(19章16～25節) \* 神の声を聞くには身を聖めなければならなかった。

①神がシナイ山に降りて来られた時、どんな現象がありましたか(申命記4:11参照)。

→

②主は山に登って来たモーセに、なぜ「すぐに下って行け」と命じられたのですか。

→

③「多くの者が滅びる」とは、何を意味していましたか(出エジプト記33:20参照)。

→

### 【適用と分かち合い】

①私たちクリスチャンにとって「神の宝」「祭司」「預言者」とは、どういうことですか。

②主はイスラエルと同じように、私たちとなぜ契約を結ばれるのですか。

③主は私たちに、ご自身と会うためにどんな備えをなさいと言われますか。

「イスラエルよ、あなたの神に会う備えをせよ。」(アモス4:12)